

東北 税政連だより

No.154

税理士の権益の維持と その拡大のために 税政連があります

迎え、総勢15名の会員が出席し開催された。

第8回 「税理士による 秋葉賢也後援会」 定期総会を開催

6月25日、「税理士による秋葉賢也後援会」第8回定期総会が仙台市のパレスへいあんににおいて開催された。

来賓として、東北税政連から吉田恵幸幹事長と浅利一儀副幹事長が、宮城県税政連からは福田治会長と斎藤雅彦副幹事長を



秋葉賢也衆議院議員からは、昨年の衆議院議員総選挙において無事に当選したことへの報告と謝辞が述べられた。来年は参議院議員通常選挙が控えており、厳しい状況が今後も続くので、候補者への応援・ご協力の程をお願いしたい旨のあいさつがあった。

勉強会では、出席者全員からマイナンバーや消費税の軽減税率などの質問に対して、丁寧に対応していただいた。

総会は、鈴木一樹幹事長の司会進行で始まり、菊地弘生後援会会長から日頃より会員のご理解・ご協力によって第8回目の定期総会を迎えることができたことへの感謝のあいさつがあった。

その後審議に入り、全議案が可決承認された。

吉田東北税政連幹事長からのあいさつの中で、会員数、会員の総会への出席率を増やすよう努力していただきたいとお話があった。

中締めをお願いした斎藤県税政連副幹事長からは、秋葉議員の一層のご活躍を期待しているとのあいさつをいただき、総会は無事に終了した。

「税理士制度と社会」

秋田県税理士政治連盟

会長 鈴木 木 明 夫

平成7年に税理士登録をし、初めて秋田県税理士政治連盟の定期大会に出席した。席上、某税理士からその年の4月にあつた参議院議員選挙で当選した金田勝年議員の後援会を立ち上げるべきとの発言があり、議員の出身高校の後輩であるという理由で開業して間もない私が前後の事情も分からないまま後援会の幹事長をさせられたのが、東北税理士政治連盟との出会いである。

税理士として事務所を構えて以降、町内会の事務局長や高校のPTA会長・校舎改築期成同盟会長を仰せつかり多くの方々とお会いする中で顧問先を知り得た。ボランティア活動等で、積極的に地域社会と関わることは、周囲から税理士がどのような評価を受けているか知ることが出来る良い機会であった。

いま、税理士は税理士業務以外に、様々な社会的貢献を求められている。監査委員・外部監査人・成年後見人・審理員・登録政治資金監査人・政策担当秘書・家事調停委員・民事調停委員・固定資産評価審査委員等である。

いずれも税理士政治連盟の活動を通じて税理士の職域拡大に繋がっているのである。

今年から、秋田県税理士政治連盟は県連主催の研修会と合同で行う定期大会を早め8月中旬に開催し、全支部会員のご参加を頂きながら開催する予定である。

「衆議院選挙を 振り返って」

青森県税理士政治連盟

幹事長 奈 良 勝 行

平成29年7月の定期大会で幹事長に選任されて間もない9月28日、陳情のため11時頃、初めて衆議院議員会館を訪問した。

正午には各議員が慌ただしく衆議院本会議場へ向かい、大島議長解散詔書の朗読によって衆議院が解散となった。

青森県は、定数1減と区割りの改定による後援会役員の変更、1区でのコストリカ方式の採用による推薦候補の検討などの対応に追われたが、選挙の結果は

推薦した小選挙区3名全員が当選を果たした。

税政連は、税理士会が建議した項目の実現に向けて政治活動をすることを目的としている。そのためにも、推薦議員には、陳情等のあらゆる機会をとらえて建議の内容をよく理解していただき、その実現にご尽力を頂かなければならない。

今後、区割りの改定、コストリカ方式の採用による後援会や推薦候補をどうするか等々、対応しなければならぬことが多く発生すると思われる。

会員の皆様には、今後とも会費の納入を含め、政治連盟に対する一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

東北税理士政治連盟の ホームページを開設いたしました

開設日 平成30年 6月1日

今後ホームページを通じて、様々な情報を発信してまいります。

ホームページアドレス

<http://www.tohokuzeiseiren.jp/>